

## 庄内最上地区 鶴岡市立荘内病院



### 〈 施設紹介 〉

荘内病院は大正 12 年（1913 年）に東田川郡・西田川郡組合立の病院として、当時の鶴岡町に創設され、令和 3 年 6 月で創立 108 周年を迎える歴史ある病院です。開院当初の診療科目は、内科、外科、産婦人科、眼科の 4 科で、病棟は 2 棟 50 床を有し、当時の庄内地方ただ一つの総合病院でした。平成 15 年 7 月 1 日に新築、移転を行い、現在では 25 診療科、521 床を有する急性期病院として地域支援病院の指定を受けています。また新病院は災害拠点病院として、地上 10 階建て鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造で、屋上に 6 t までの防災ヘリコプターが使用できる飛行場外離着陸場を有し、地下には免震構造を備えています。

鶴岡市立荘内病院ホームページ <https://www.shonai-hos.jp/>

### 〈 ヒポクラテスの木 〉

ヒポクラテスは、紀元前 460 年にエーゲ海のコス島（ギリシャ）に生まれた医師で、「ヒポクラテスの誓」を記述して医の倫理を説き、「医聖」として全世界の医師に崇拝されています。彼は晩年、故郷コス島のプラタナスの下で弟子たちに医学を講義したと伝えられ、現在もなお存在するコス島のこのプラタナスを「ヒポクラテスの木」と称し、島民が大切に保存しています。彼を慕ってコス島を訪れた故篠田秀男医師が、ヒポクラテスの木の種子を持ち帰り篠田株を作りました。この株から分けられたヒポクラテスの木が現在も、病院正面のポケットパークで青葉を茂らせています。



ヒポクラテスの木の葉  
(荘内病院シンボルマーク)



## 〈 検査室紹介 〉

当院の検査室は、総勢 29 名（臨時・パート含め検査技師 27 名、助手 2 名）で中央検査科と病理科の 2 つの科に分かれています。当直などは一緒に行い、基本的には 1 つの科として一緒に業務や行事を行っています。検査室は病院の 2 階にあり、採血室は 1 階と 2 階に 2 つあります。（2 階は午前中のみ）生化学・血清・一般・血液・輸血検査は、ワンフロアになっていて、隣に生理検査室、細菌検査室、廊下を挟んで病理科と並んでいます。2019 年から新型コロナウイルスが流行し、当院でも PCR の検査機器を導入し、2021 年 3 月現在ようやく遺伝子検査室の体制も整ってきました。今後は外部に委託していた検査を院内で行い、迅速な対応が出来るよう努めていきたいと思ひます。



遺伝子検査室



検体検査室